

A scenic photograph of two people kayaking on a calm, blue lake. The kayakers are wearing orange life jackets and are seen from behind, paddling towards the right. The background features lush green mountains and a clear blue sky with a few white clouds. The overall atmosphere is peaceful and adventurous.

2025 Summer Tours & Activity Travel Trends Report

2025 May
VELTRA Corp. All rights reserved.

VELTRA

ベルトラ予約データから見る 2025年夏の海外人気アクティビティ動向

観光庁の統計によると、2025年1月～3月の日本人出国者数は2019年比で約7割程度の回復にとどまっており、旅行費用の上昇などが日本人の海外旅行動向に大きな影響を与えていると考えられます。

そんな中、ベルトラが取り扱う現地体験型アクティビティの予約数は前年同期比で+16.2%と着実に増加しており、依然として現地体験が海外旅行における重要な要素の一つであることを示しています。

本調査では2025年5月時点の予約状況に基づき、旅行のピークシーズンである2025年6月から8月における日本人渡航者の人気渡航先および海外現地アクティビティの予約動向を考察しています。

調査日：2025年5月20日

調査対象：ベルトラで予約された2025年6月1日～8月31日に参加予定の海外現地アクティビティ



2025 Summer: Tours & Activity Booking Trends

Executive Summary

1. 人気渡航先に為替の影響か

2025年夏の日本人渡航先ランキングでは、オアフ島が不動のトップを維持しつつ、ヨーロッパ（特にパリ）と北米（ロサンゼルス、ラスベガス）の人气が顕著に高まりました。アジアの一部の主要都市はトップ10から外れるなど、相対的な順位変動が見られます。円高によるアメリカ方面への割安感や、これまで行ってみたいかった都市への憧れの高まりが影響していると考えられます。

2. 定番+利便性の高いアクティビティが人気

ハワイのサンセットクルーズやマリンアクティビティといった王道リゾート体験が人気。アジアではアユタヤ遺跡やDMZツアーのような歴史・文化体験や上位です。欧米ではグランドキャニオンなどの壮大な自然体験やモンサンミッシェルなどの世界遺産・絶景ツアーが支持され、中東・アフリカでは砂漠サファリのような異文化体験が人気です。また共通して移動の利便性や効率性を求める傾向が見られます。

3. 顧客単価は引き続き上昇

現地体験アクティビティの平均顧客単価は全体で+43%と引き続き上昇傾向にあり、主に為替レートの影響や、現地物価の高騰が複合的に作用した結果と推測されます。アジアでも単価が+34%と高く、他エリアと比べて割安感が薄れてきていることが示唆されます。

4. 安心・楽々志向とプライベート体験

「観光ツアー」の利用割合の増加にくわえ「空港送迎」も伸びており、海外旅行において簡便性や移動のスムーズさ、安心感を重視する傾向が強まっていることを示しています。また事前に「チケット」を確保する堅実な計画性や、「貸し切りツアー」といったプライベートな体験への関心も高まっています。

2025年 海外渡航先予約数ランキング

渡航先		2024年の順位	
1位	ハワイ・オアフ島	1位	(一)
2位	フランス・パリ	6位	(↑)
3位	オーストラリア・ケアンズ	5位	(↑)
4位	韓国・ソウル	3位	(↓)
5位	グアム	4位	(↓)
6位	アメリカ・ロサンゼルス	22位	(↑)
7位	イギリス・ロンドン	8位	(↑)
8位	タイ・バンコク	2位	(↓)
9位	スペイン・バルセロナ	9位	(一)
10位	アメリカ・ラスベガス	21位	(↑)

定番の渡航先に加え、アメリカの都市が急上昇。為替やオリンピックの影響も？

2025年の渡航先は不動の人気のハワイ・オアフ島に加えて、日本から比較的渡航しやすいケアンズ、ソウル、グアムなどが安定した人気を保っています。

注目はロサンゼルスとラスベガス。昨年と比べて円高ドル安が進んだことでアメリカ方面への旅行ハードルが下がった可能性が考えられます。また対ユーロでも円高が進んだことや、昨年開催されたオリンピックがパリの更なる人気を後押ししました。反対に韓国やバンコクなどアジア方面は、為替の影響で割安感が薄まった可能性もあります。

全体的には、為替レートの変動に加え「いつか行ってみたい」と思っていた場所への旅行意欲の高まりなどによりランキングに変動が見られます。

2025年 エリア別 海外現地アクティビティ予約数ランキング

日本から渡航しやすいハワイ、アジア諸国、オセアニアでは、ハワイのサンセットクルーズや、アジア・オセアニアの世界遺産ツアーなど、その地域ならではの「これぞ」という定番アクティビティが依然として高い人気を誇っています。

また、グアムの空港送迎やツアーのカテゴリ全体の増加傾向（P.8）からも読み取れるように、旅行先での移動や手配の「楽しさ」「スムーズさ」など効率性や利便性重視する傾向が見て取れます。加えて、歴史・文化に深く触れるツアー（アジア）、自然の中でのアクティブな体験（ハワイ）、そして自然保護とアドベンチャーを融合させたエコツアー（オセアニア）など、旅行者が求める体験の幅が広がっていることが伺えます。

ハワイの人気アクティビティ

1	サンセットディナークルーズ スターオブホノルル号	ハワイ ホノルル
2	ハワイパラセーリング	ハワイ ホノルル
3	クアロア・ランチ 四輪バギー体験	ハワイ ホノルル

アジアの人気アクティビティ

1	アユタヤ遺跡+水上マーケット+象乗り観光ツアー	タイ バンコク
2	南北境界線(DMZ)ツアー	韓国 ソウル
3	世界遺産ハロン湾 日帰りクルーズ	ベトナム ハノイ

オセアニア・ビーチリゾートの人気アクティビティ

1	世界遺産キュランダ（鉄道&スカイレール） 自由探索プラン	ケアンズ
2	グアム国際空港送迎	グアム
3	世界遺産グリーン島クルーズ エコアドベンチャー	ケアンズ

2025年 エリア別 海外現地アクティビティ予約数ランキング

ヨーロッパやアメリカ、中東・アフリカでは、世界遺産や主要スポットを効率的に巡る日帰りツアーや周遊チケットが各地域で支持されています。またヨーロッパは歴史と景観、アメリカは壮大な自然と都市エンタメ、中東・アフリカは非日常的な体験と古代文明など、その土地ならではの魅力を最大限に引き出すアクティビティが人気です。

移動を伴うツアーでは、トイレ付きバスや空港送迎、球場送迎など、旅程全体のストレスを軽減するサービスが求められています。定番の観光に加え、スポーツ観戦、歴史・文化など特定の体験、プライベートな貸し切りツアーといった、旅行者の多様なニーズに応えるアクティビティが人気を集めています。

ヨーロッパの人気アクティビティ

1	トイレ付バス！ モンサンミッシェル 日帰りツアー	パリ フランス
2	ノルウェー・ナットシエル 周遊チケット	ノルウェー
3	モンサンミッシェル 日帰りツアー 港町オンフルール訪問	パリ フランス

アメリカの人気アクティビティ

1	ルート66を辿る！ グランドキャニオン国立公園 & アンテロープ日帰りツアー	ラスベガス
2	球場⇄ロサンゼルス 周辺ホテル 往復送迎サービス	ロサンゼルス
3	ロサンゼルス観光ツアー	ロサンゼルス

中東・アフリカの人気アクティビティ

1	デザートサファリ 砂丘ドライブ+アラビアン BBQディナー	ドバイ
2	ギザの3大ピラミッド& エジプト考古学博物館ツアー	エジプト
3	【貸切】デザートサファリ 砂丘ドライブ+アラビアン BBQディナー	ドバイ

Topics - 平均単価は引き続き増加傾向

1予約あたりの平均顧客単価は全体で+43%と、引き続き大幅に上昇しており、主に円安や現地物価の高騰が複合的に影響していると考えられます。

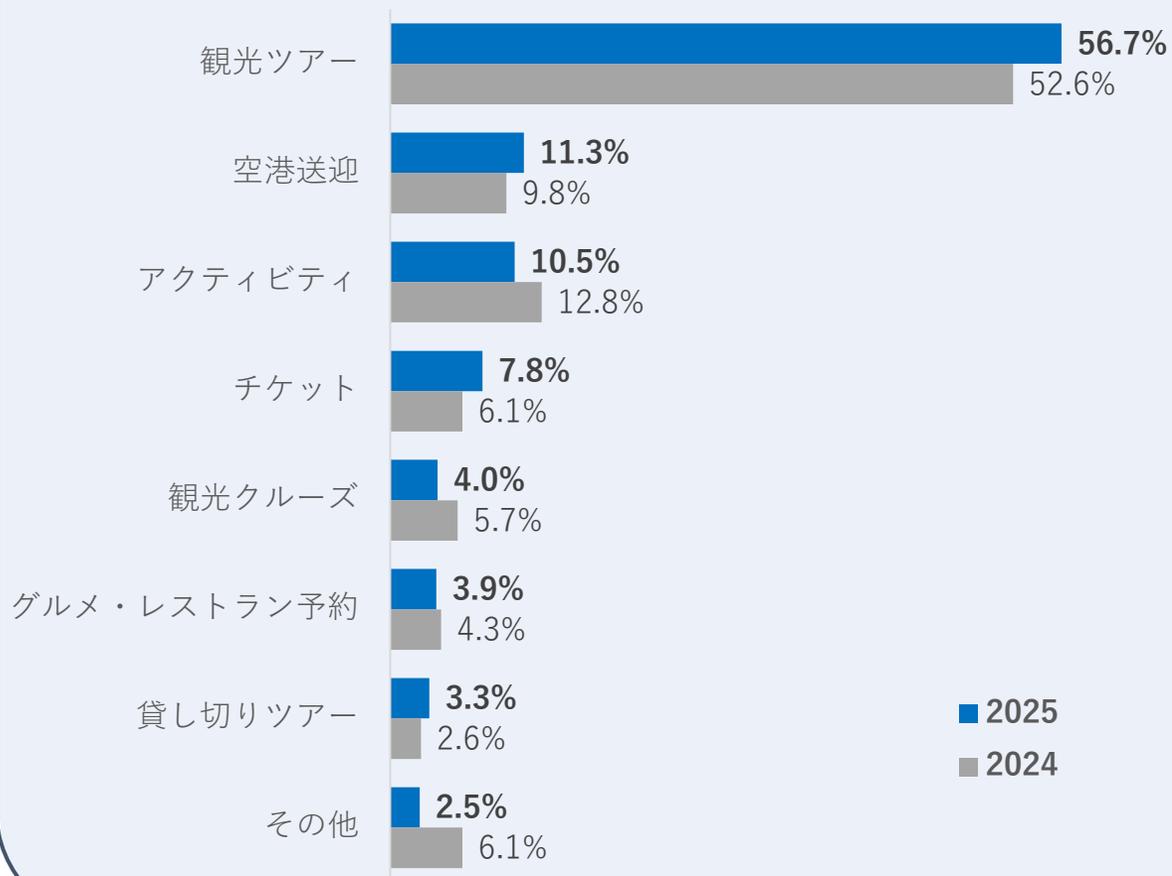
特にアジア（+34%）とヨーロッパ（+29%）で高い伸びが見られ、これまで比較的割安だったアジアでも費用増が顕著となっています。また元来の単価が高かった北米（+27%）でも、さらに単価が上昇しています。

一方で、ハワイの単価上昇は+4%と比較的緩やかで、ホテルや航空券を含めた全体の旅行費用が上昇するなか、現地体験やアクティビティへの出費を抑える傾向がある可能性も考えられます。

平均顧客単価の変化

渡航先	2025年	2024年	変化率
アジア	¥17,613	¥13,112	+34%
ハワイ	¥19,889	¥19,189	+4%
オセアニア	¥21,235	¥17,704	+20%
ヨーロッパ	¥31,831	¥24,766	+29%
北米	¥62,265	¥49,020	+27%
全体	¥27,609	¥19,245	+43%

アクティビティ種別別 予約割合の変化



Topics - 安心・楽々志向と貸し切りツアーのニーズの高まり

「観光ツアー」の割合が約4%アップし、「空港送迎」も1.5%増加しています。旅行者が海外での移動や手配に関して、より安心感のあるパッケージ化されたサービスや、効率的な移動手段を求める傾向が強まっていると考えられます。

一方で「アクティビティ」の割合は2.3%、「観光クルーズ」は1.7%減少しています。

また「チケット」の割合が1.7%、「貸し切りツアー」が0.7%増加しており、事前に主要な入場券などを確保する堅実な旅行計画と、プライベートな体験へのニーズが高まっていることが伺えます。



ベルトラについて

ベルトラは旅行会社の枠組みを超え、国内から海外、旅行前から旅行後、オンラインからオフラインまで、「心ゆさぶる体験」に出会うためのソリューションを提供します。

URL : <https://www.veltra.com/jp/>

企業概要

社名：ベルトラ株式会社 (VELTRA Corporation)

上場市場：東京証券取引所グロース市場 (証券コード：7048)

本社：東京都中央区日本橋二丁目13番12号 日本生命日本橋ビル5階

設立：1991年11月

代表者：代表取締役社長 兼 CEO 二木 渉

資本金：20億7838万円 (2024年12月31日現在)

事業内容：現地体験型アクティビティ専門予約サイト「VELTRA.com」、インバウンド・国内旅行チケットプラットフォーム「LINKTIVITY」の運営

本レポートに関するお問合せ先・取材のお申込み

ベルトラ株式会社 担当：三田村

Mail : pr.jp@veltra.com